夏井小学校だより No. 35

なつい

令和３年２月10日

<スローガン>
○ なかよく
○ つよく
○ いっしょう けんめい

QRコード

教育目標：「豊かな関わりを自ら築き、共に学び育つ児童の育成」

TEL 34-3226　FAX 34-4219　　発行責任者：いわき市立夏井小学校長　角田 健司

体力づくり ～朝の様子から～

朝の様子を見ると、校庭に出てランニングや縄跳びをやっている子たちが多く見られ、朝から学校に活気を与えてくれています。毎朝の校庭ランニングを日課として目標をもって取り組んでいる子や縄跳びの新しい技に挑戦する子など、それぞれに頑張っています。目標をもって、毎日体力向上に励む姿は、立派だなーと思います。頑張っている子たちを見ると、私たち教職員も今日一日頑張るぞ！とやる気に満ちてきます。

学校給食を通した魚食普及事業　～いわきのお魚を食べよう～（2月9日）

おさかな給食に合わせて、５年生で「学校給食を通した魚食普及事業」による食育講座を行いました。はじめに四倉給調の栄養技師が、今日のおさかな給食について、魚の栄養やおいしさ、調理法などについて説明し、その後に、水産課の職員が、毎月７日が「さかなの日」に定められたことや、いわきで水揚げされる魚の種類、水産業の話などについて、説明してくださいました。テレビ局の取材も入り、子どもたちは緊張していましたが、魚のことについて話を聞きながら、おいしそうにおさかな給食を食べていました。

おさかな給食（さんまのポーポー焼き）↑

本日の取材については、２月２８日（日）１１：２４からの「シルミルいわき」（ＴＵＦ）で放送される予定です。

第65回福島県書きぞめ展　奨励賞　おめでとう！

福島県書きぞめ展に本校より出品した中で、３年　鈴木蒼奈さんの作品が、「書きぞめ奨励賞」に入賞しました。おめでとうございます！　本来であれば、福島県教育会館に優秀作品が展示されるのですが、コロナの影響で展示は行わず、２月１５日(月)～２月２８日(日)に福島県教育会館ホームページ（http://kyouikukaikan.jp）に掲載されます。是非ご覧ください。

怖い"ゲーム依存症"

以前、全校集会や学校だよりにも取り上げましたが、ネットゲームには様々な危険がかくれています！

小学生でも依存症から抜け出せず、専門病院に入院して治療を受けている子がいることも話しました。本校でも、授業中に寝てしまい、または眠そうにしていて、理由を聞くと夜遅くまでネットゲームをしていたという子が出てきています。時間を決めても、やめられず続けてしまうというのは依存症に近い状態で、生活や学習に様々な支障が出ていることが多いようです。

怖いのが、脳の正常な成長が止まってしまいゲーム脳といって脳が萎縮して小さくなってしまいます。次のような症状が出てきたら、要注意です。ご家庭でもお子様の様子をご確認いただき、心配な場合は、まずは生活改善から取り組ませるようお願いします。

① ゲームをやっていないと落ち着かない。
② 時間を決めても途中でやめることができず睡眠不足になる。
③ かくれてゲームをしたり、ゲーム時間について親に嘘をついたりする。
④ ちょっとしたことで怒りだし、感情がおさえられなくなる。
⑤ 「死ね」「殺す」など仮想空間（ゲームの世界）で使っていた言葉が現実空間でも使うようになる。
⑥ 眼の焦点が合わず、ボーッとしていることがある。

2019年5月に、WHO(世界保健機構)が「ゲーム依存症」を国際疾病として正式に認定しました。

夏井小の子たちの大切な命と身体が危険に合わないように、家庭を中心に、身近な大人たちが声をかけながら子どもたちを守る必要があると思います。